旭日双光章　増鍋　眞
旭日双光章を授けられる
旭日単光章を授けられる（各通）（以上十月十四日）　山中　梓　金井　英一　見城　秀樹
旭日双光章を授けられる
旭日単光章を授けられる（以上十月十五日）　向井　清　菱川　利美
旭日単光章を授けられる（十月十六日）　尾野　彰
（東北大学名誉教授）　佐武　正雄
瑞宝中綬章を授けられる　河村　幸一　安達　秋夫　及川　明　準一　瀏　高近藤美八夫　成人　中島　和夫　櫻井　昭二　佐々本　河　楠田　孝藏
瑞宝双光章を授けられる（各通）　池田　雄幸　濱田二三三
瑞宝単光章を授けられる（各通）（以上十月十四日）　乾　格　今井　福三　柿内　邦昭　高崎　實一　土田　浩　百々　誠義　仲村　將弘　溝口　隆
瑞宝双光章を授けられる（各通）　大西　弘　義郎　大平　横川　雄
瑞宝単光章を授けられる（各通）（以上十月十五日）
（三重大学名誉教授）　中島　喜代子
瑞宝中綬章を授けられる　間瀬　良丸　山崎　邦芳
瑞宝小綬章を授けられる（各通）　赤堀　旭　畔田　治夫　稲田　實　篠木　昭弘　中村　道明　中坂　繁信　緒方　徹　越智啓二郎　田田　泰利　岡本　豊春　小嶋　達男
瑞宝双光章を授けられる（各通）
瑞宝単光章を授けられる（各通）（以上十月十六日）　山下　勉
瑞宝双光章を授けられる（十月十七日）　吉村　實
瑞宝双光章を授けられる（十月十八日）　菅原　繁
瑞宝双光章を授けられる（十月十九日）

○勲章

双光章　小泉　勝
勲章褫奪令第二条第一項により平成二十五年十月二十五日勲章を褫奪された

皇室事項

御祝電

天皇陛下は、タジキスタン国大統領エマムアリ・ラフモン閣下の大統領再任につき、十一月十八日御祝電を発せられた。

官報告

労　働

最低賃金の改正決定に関する公示

大分労働局最低賃金公示第５号

最低賃金法（昭和34年法律第137号）第15条第２項の規定に基づき、大分県自動車・同附属品製造業、船舶製造・修理業，舶用機関製造業最低賃金（平成20年大分労働局最低賃金公示第５号）の一部を次のように改正する決定をしたので、同法第19条第１項の規定により公示する。

平成 25 年 11 月 20 日

大分労働局長　浅田　和哉

第４号中「１時間763円」を「１時間773円」に改める。

附　則

この決定は、平成25年12月25日から効力を生ずる。

国家試験

採用候補者名簿の有効期間の満了

人事院規則８―12（職員の任免）第14条第１項の規定に基づき、下記に掲げる採用試験の結果に基づいて作成された全ての採用候補者名簿の有効期間は、平成25年11月19日をもって満了した。

平成 25 年 11 月 20 日

人事院人材局企画課長　赤穂　敏広
人事院東北事務局第二課長　佐々木泰則
人事院関東事務局第二課長　糸満　誠
人事院中部事務局第二課長　石坂　政雄
人事院近畿事務局第二課長　中島　隆
人事院中国事務局第二課長　石田　栄二
人事院四国事務局第二課長　藤田　武志
人事院九州事務局第二課長　橋本　勉

記

平成24年度国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）

人事院規則８―12（職員の任免）第14条第１項の規定に基づき、下記に掲げる採用試験の結果に基づいて作成された全ての採用候補者名簿の有効期間は、平成25年11月19日をもって満了した。

平成 25 年 11 月 20 日

人事院人材局企画課長　赤穂　敏広
人事院関東事務局第二課長　糸満　誠

記

平成24年度国家公務員採用一般職試験（社会人試験（係員級））

人事院規則８―12（職員の任免）第14条第１項の規定に基づき、下記に掲げる採用試験の結果に基づいて作成された全ての採用候補者名簿の有効期間は、平成25年11月19日をもって満了した。

平成 25 年 11 月 20 日

人事院北海道事務局第二課長　澤井　隆志
人事院東北事務局第二課長　佐々木泰則
人事院関東事務局第二課長　糸満　誠
人事院中部事務局第二課長　石坂　雅雄
人事院近畿事務局第二課長　中島　隆
人事院中国事務局第二課長　石田　栄二
人事院四国事務局第二課長　藤田　武志
人事院九州事務局第二課長　橋本　勉
人事院沖縄事務所調査課長　渡辺　二郎

記

平成24年度税務職員採用試験

資　料

平成 25 年９月中国際収支状況（速報）

財　務　省
（単位：億円、％）

項　目	９　月	前　月	前年同月
貿易・サービス収支	−9,763	−10,392	−7,380
（対前年同月比）	（32.3）	（18.1）	（―）
貿易収支	−8,748	−8,859	−4,747
（対前年同月比）	（84.3）	（33.5）	（―）
輸出	57,172	55,267	51,046
（対前年同月比）	（12.0）	（14.1）	（−10.5）
輸入	65,921	64,126	55,792
（対前年同月比）	（18.2）	（16.4）	（4.6）
サービス収支	−1,015	−1,533	−2,633
所得収支	16,279	12,530	13,061
経常移転収支	−643	−523	−544
経常収支	5,873	1,615	5,137
（対前年同月比）	（14.3）	（−63.7）	（−68.1）
投資収支	2,310	−1,590	−6,839
直接投資	−5,806	−4,991	−7,800
証券投資	−52,585	−2,839	−36,534
（証券貸借取引を除く）	（−18,461）	（6,761）	（−8,455）
金融派生商品	−3,597	1,625	330
その他投資	64,297	4,615	37,166
（証券貸借取引を除く）	（30,173）	（−4,985）	（9,086）
その他資本収支	−177	−215	−22
資本収支	2,133	−1,805	−6,860
外貨準備増（−）減	−9,041	−6,760	2,125
誤差脱漏	1,035	6,950	−402

（備考）①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。
②　資本収支及び外貨準備増減の（−）は資本の流出（資産の増加、負債の減少）を示す。